

たはずの西さんたちの足跡を確認。西さんたちも現在地確認のため、あちこちと歩き回ったようだ。

7:55顕著な二俣に出る。これが遡行予定の沢だと思ったが、平坦地のため高度計は役に立たず、蛇行した沢に方向感覚も狂い、現在地の確認ができない。無線交信で西さんたちがこの沢に入ったと確認できたので、私達はここで下降終了とした。
(記)

[タイム] 御池(7:05)→沢(7:10, 7:15)→二俣・下降終了(7:55)

上大杉沢(仮称)

1989年7月30日

L

和泉さんの車で送ってもらい、やぶをこいで沢に入る。実は大杉沢に入るつもりであったのだが、車道上に目印がなく、現在地確認を誤ってしまい、予定の大杉沢より1本上流の上大杉沢(仮称)に入り込んでしまった。

7:10遡行開始。蛇行したり、時には流れが消えてしまったりと、湿原の中を複雑に流れている。途中ノタ場があり、獣たちの足跡が無数についていた。湿原地帯を抜けると、樹林帯を蛇行しながら流れるようになる。それでもゆるやかな流れでしかない。

出合から1時間程遡行したあたりからようやく傾斜がついてきた。でも滝はかからない。どんどんつめあげていったら、1mの小滝をみただけで、源頭の湿原となってしまった。15分のやぶこぎで、大杉岳と御池を結ぶ登山道に出る。
(記)

[タイム] 出合(7:10)→遡行終了(9:15)→大杉岳(9:40, 10:00)→御池(10:40)



七入沢

1989年7月30日

L

七入のテントサイトから車に便乗し、途中で降ろしてもらって沢に入る。すぐ